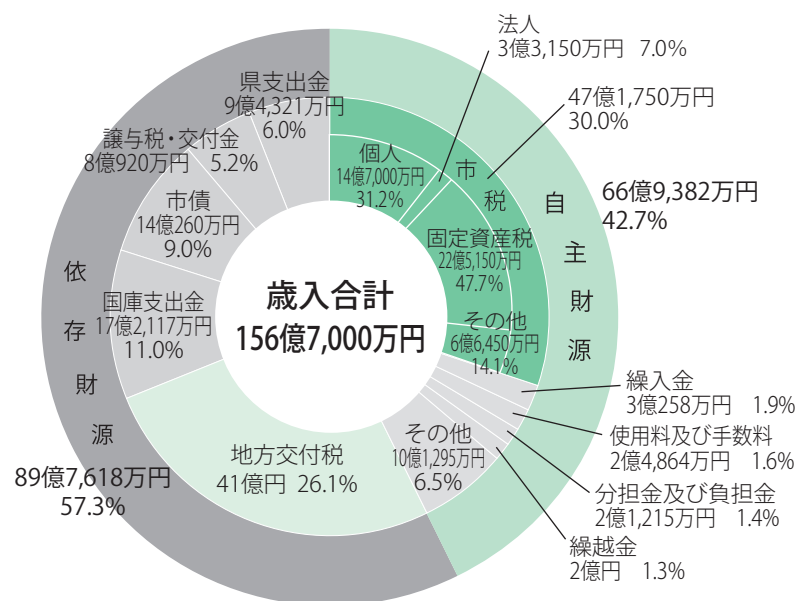


歳入

歳入総額に占める市税、使用料等の自主財源は前年度比4.6パーセントの減、国・県支出金や地方交付税等の依存財源は前年度比6.5パーセントの増となっています。



※金額の1万円未満は四捨五入



用語解説

【歳入】

- ・地方交付税 地方公共団体が等しく事務を行うことができるよう、一定の基準で国が交付するもの
- ・市債 資金調達のための借入金
- ・繰入金 特別会計や基金から一般会計に繰り入れるもの

【歳出】

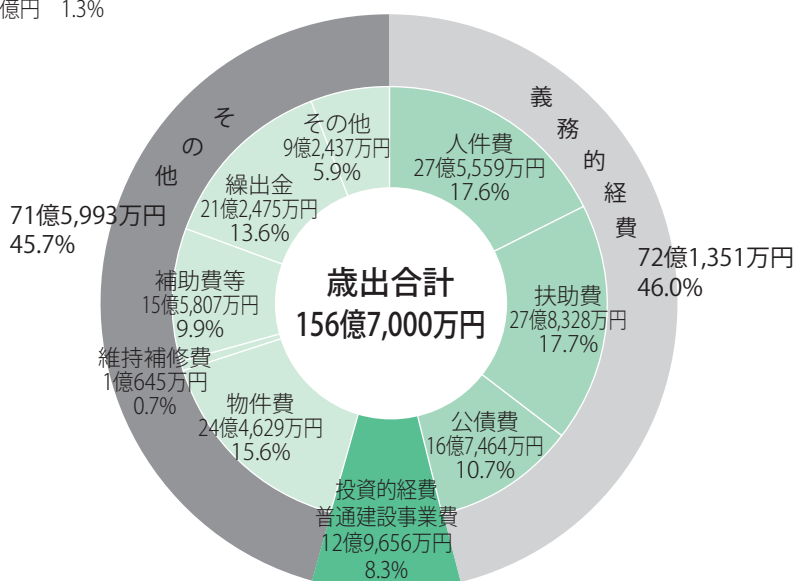
- ・扶助費 高齢者、児童、生活困窮者等への支援に要する経費
- ・公債費 市が借り入れた借金（市債）の元金、利子の償還金
- ・普通建設事業費 道路や橋などの公共施設の建設に要する経費
- ・繰出金 一般会計から特別会計への繰出金

当初予算

一般会計 156億7千万円

平成23年度の一般会計当初予算額は、前年度に比べ2億3,000万円、1.5パーセントの増です。

▼問い合わせ先 財政課 財政係



歳出

「子育て・教育」「環境」「健康・福祉」「危機管理・生活基盤整備」「産業・交流」「協働」の6つの柱を中心に、各部・課・係ごとに事業内容を精査し、限られた財源を効率的に活用する予算編成としました。

予算はどうやって決まるの？

予算を決めるのは、市民の皆さんから選挙で選ばれた市長と市議会議員です。

市の収入（税金など）を担当する部署において、景気の動向などを踏まえ、翌年度の収入額を見積もります。また、事業を行う部署は、市民の皆さんからの意見や要望、地域の状況などを見ながら、翌年度に行う事業の内容を検討します。

市長は、市の計画などをもとに、各部署で検討された事業の案を精査し、財源の確保などを工夫しながら予算案をまとめ、市議会に提案します。

市議会では、さまざまな議論を行いながら予算案を審議し、最終的に予算が決まります。

平成23年度 特徴的な事業

1 子育て・教育

新 生徒指導支援教員配置事業 280万円

中学生の生徒指導・学力向上のため、市単独で講師1名を配置します。

継 中学生海外派遣交流事業 316万円

事業効果検証のため一時中断していましたが、内容を充実し再開します。

2 環境

新 ニホンジカ急増未然防止対策事業 358万円

ニホンジカ急増未然防止のため、調査捕獲専門員を1名配置します。

継 新ごみ焼却施設建設事業 4,575万円

早期実現に向け、生活環境影響調査を実施し、基本設計などを行います。

3 健康・福祉

継 子宮頸がん予防等

ワクチン接種事業 6,408万円

子宮頸がん予防等のワクチン接種を実施します。

継 日本脳炎ワクチン接種事業 1,227万円

平成22年度から再開した新ワクチンによる接種を引き続き実施します。

新 不妊治療費補助金 150万円

保険適用外の医療費に対し、10万円を限度に助成します。

新 特定健康診査の無料化（国民健康保険加入者）

国保加入者の負担軽減と受診率向上のため、特定健診を無料化します。

※ **新** は平成23年度からの新規事業、**継** は引き続き実施する事業

4 危機管理・生活基盤整備

新 すまいのリフォーム応援事業 1,000万円

バリアフリー改修、長寿命化等の住宅リフォームに対し補助をします。

継 セーフコミュニティ推進事業 554万円

安全・安心なまちづくりを進めるため、平成24年度のセーフコミュニティ認証取得を目指し、平成22年度に引き続き取り組みます。

新 地方特定道路整備事業（市道7024号線） 3,400万円

新ごみ焼却施設予定地への取り付け道路の整備を行います。

5 産業・交流

新 太陽光発電施設設置助成金（企業対象） 1,000万円

市内事業所が太陽光発電施設を設置する際に助成金を交付します。

新 ふるさと小諸情報発信事業 1,995万円

小諸をPRする番組の制作・放送をFM長野へ委託します。

継 プレミアム商品券発行事業補助金 990万円

プレミアム商品券発行（発行総額1億6,500万円）に対し、プレミアム分（市負担分5%）を補助します。

6 協働・行政経営

新 小諸市明治学院大学協働連携事業調査研究活動奨励金 40万円

明治学院大学のゼミが、小諸市において調査研究・報告会を行う際、奨励金を交付します。

継 事業仕分け 224万円

行財政改革の一環として、平成22年度に引き続き実施します。

新 住宅使用料等私債権未回収金管理回収業務委託 150万円

住宅使用料等の私債権の徴収困難案件の処理を促進するため、徴収業務を法律事務所へ委託します。

●主な特別会計・企業会計

主な特別会計	平成23年度当初予算
国民健康保険事業	43億6,566万円
後期高齢者医療	3億5,409万円
介護保険事業	33億3,435万円
奨学資金	317万円
住宅新築資金等貸付事業	3,944万円
公共下水道事業	18億9,200万円
農業集落排水事業	2億6,100万円
小諸公園事業	1億3,497万円

企業会計	平成23年度当初予算
水道事業会計	収 入 8億5,080万円
	支 出 8億2,061万円
	収 入 1億3,471万円
	支 出 3億4,680万円

特別会計は、市が特定の事業を行うために、一般会計とは別に設けられた会計で、主として保険料や使用料などの収入で賄われています。また、企業会計は、その事業で得る収入で支出を賄う独立採算型の会計です。

●市債について

地方公共団体は、将来にわたって使用される道路や公園などの公共施設の整備等の財源として、地方債（市の予算科目では市債）という借金を活用しています。市債には、公共施設を利用するそれぞれの世代に、その建設のための費用を、公平に負担していただくという役割があるからです。

平成23年度一般会計では、実質的な地方交付税である臨時財政対策債として6億5,000万円、大手門公園の整備や相生町の修景事業などを行う都市再生整備計画事業で2億7,800万円、市道の新設や改良などを行う地方道路等整備事業で2億1,240万円などの市債の発行を予定しています（各事業の進捗状況により発行額は変わります）。

市では、市債の返済という将来の負担が大きくなりすぎないように、計画的に借り入れをしています。

平成23年度市債発行限度額	平成23年度市債返済額	市債減少予定額
14億260万円	14億2,539万円	2,279万円